

図書館だより

vol.1
2023.2.10



令和4年度 学生図書委員会ブックハンティング図書 及び おすすめの本紹介文

目次

図書館長挨拶	図書館長 田中美穂	2
学生図書委員の活動紹介	学生図書委員会副委員長	2
教員推薦図書一覧		4
思い出の一冊	一般科理系 森田 昌孝・情報工学科 重松 康祐	6
令和4年度読書感想文コンクール上位入選作品		7
令和4年度読書感想文コンクール講評	一般科文系 広瀬 裕美子・学生図書委員会委員長	10
令和4年度読書感想文コンクール及び図書貸出上位者・クラス表彰式		11
令和4年度学生図書委員名簿		12
令和4年度読書感想文コンクール入選者及び貸出上位者・貸出上位クラス		12
編集後記	図書館長補佐 薬師寺 輝敏	12

図書館長 挨拶

一般科文系 田中 美穂

今年度から新たに「図書館だより」を発行することになりました。従来の「図書館報」「もさく」「(学生図書委員による)図書館だより」を統合した冊子です。統合および発行については、(教職員による)図書館運営委員会と学生図書委員会で議題にかけて承認されました。皆さん、ご覧になっていかがでしょうか。

本の世界でも電子化・ペーパーレス化が進んでいますが、図書館で直接書籍に触れることは大切な時間・経験だと考えています。本棚を見回して面白そうな書籍を手にとること。手に取って頁をめくって実際に読むこと。時には思わぬ発見もあることでしょうか。試験勉強や調査・研究のために図書館を利用する人もいます。

図書館は私たちの人生を豊かにしてくれる場所だと思います。皆さん、ぜひ図書館をご利用ください。

学生図書委員の活動紹介

こんにちは、学生図書委員です。今年度も終わりが近づいてまいりました。年度末は毎年色々な事が一斉にやってきて非常に立て込みます。読書する余裕くらい持ちたいものです。

ここからは、図書館だよりの一部をお借りして今年度の学生図書委員会の活動を紹介していきたいと思います。

学生図書委員会

学期の初めに一回ずつ年二回行っています。図書委員会でやることは主に三つです。一つ目は、今年度行う活動の承認。二つ目は、委員長、副委員長や読書感想文の審査員の選出など仕事の分担。この図書館だよりは副委員長の二人と先生方が主体となって執筆しています。三つ目はブックハンティングや読書会等催しの内容や日程の決定を行っています。

(4E 日野 耕介)

読書感想文コンクール

年を重ねるごとに読書感想文の質が上がっているような気がするの私だけなのでしょうか？ 今回も素晴らしい作品ばかりでした。話題の本や自身が興味を持った本など様々な選ばれ方をし、様々な視点から書かれた感想文は非常に読み応えがあり、考えさせられます。感想文にて書かれた本は図書館に置かれるそうなので、興味を持たれた方はぜひ読んで、感想を抱いてみてください。

(4M 蔵原 晴生)

ブックハンティング

ブックハンティングは図書館の蔵書に無いけれど読みたい本を図書委員一人につき五冊まで入れられると言うものです。現在は昨今の事情もあり図書委員それぞれが用紙に記入して期日までに提出する形を取っていますが、以前は図書委員で本屋へ出向いて選んでいました。自分は書店や図書館で偶然出会った本を読むのも好きなのでブックハンティングをするときは、普段目星を付けていた小説と一緒に本屋で数冊選ぶようにしています。また、小説以外の本でも構いません。図解や勉強用の本、写真集など大抵の本は許可されるかと思います。(シリーズものと漫画は不可。) 図書委員ではない皆さんも図書委員が代わりに申請することができるので、気軽に近くの図書委員に言ってみてください！

(4E 日野)

令和4年度ブックハンティング図書 (一部抜粋)

今日からはじめる Blender 3 入門講座	端正な折り紙	ガラスの海を渡る舟
いちばん美しい季節に行きたい世界の絶景365日	線一本からはじめる伝わる絵の描き方	タイムカプセル
工学系学生のための複素関数攻略への一本道	ジブリの立体建造物展 図録	マイクロスパイ・アンサンブル
実用数学技能検定完全解説問題集 発見	TOEIC L&R テスト究極のゼミ	四畳半タイムマシンブルース
UnityではじめるROS人工知能ロボットプログラミング実践入門	TOEIC L&R test 出る単特急金のフレーズ	カラダ探し
Unity AR Foundation による AR アプリ開発入門	連続殺人鬼カエル男	Jミステリー
平成仮面ライダーなりきりアイテム大全	変な家	エクソフォニー

おすすめの本の紹介文の募集

現在図書館では、おすすめの本の紹介文を募集しています。紹介文とは言ってもイラストを用いたポップのようなものが多いです。書いていただいた紹介文は、図書館で飾らせていただいています。今もたくさんの紹介文が図書館に…と、言いたいところですが現在、集まった紹介文はほとんどが学生図書委員の作成したものです。それはそれで良いのですが、図書委員以外の方からも紹介していただきたい！ 紹介するのは小説でなくても構いませんし、イラストのみ、文章のみでも構いません！ ぜひご参加ください！

(4E 日野)

おすすめの本

ウー・ウェンの100gで作る北京小麦粉料理

高専の図書館にはレシピ本もあることはご存知でしょうか？ 私がブックハンティングにて入れていただいた本『ウー・ウェンの100gで作る北京小麦粉料理』を紹介します。この本は、小麦粉100gで作れる北京料理のレシピ本です。例えば餃子や担々麺、肉まんなど知っているものもあれば、猫耳や花巻など知らない、けれど美味しそうなものも載っています。他におかずに肉料理なども書かれてあるので、粉もの好きだけでなく海外の料理に興味がある方にもおすすめです。

(4M 蔵原)

「図書館戦争」シリーズ

私が紹介する本は「図書館戦争」シリーズです。既に実写化もアニメ化もされ有名な作品ではありますが、今回は図書館だよりで紹介とすることで図書館が舞台のこの小説を紹介させていただきます。

あらすじ：舞台は昭和から正化へ元号が変わり、公序良俗を乱し、人権を侵害する表現を規制するための法律として「メディア良化法」が成立した日本。法律が拡大解釈され、良化特務機関による実質的な検閲が行われているのに対抗し「図書館の自由に関する宣言」を元に「図書館の自由法」を制定、図書隊が設立され互いの抗争は激化の一途を辿っていた。両法が成立してから30年。主人公は高校生の頃に大好きな本を守ってくれた図書隊員に憧れて図書隊に入隊した笹原郁。訓練では男子隊員を凌ぐほどの身体能力を持つ彼女は、図書隊の中でも精鋭である図書特殊部隊に配属され…

架空の日本での図書隊と良化特務機関の抗争と、図書隊の人間模様を描いた物語です。有川ひろ先生の小説は、「植物図鑑」
「県庁おもてなし課」など、知っている方も多いのではないでしょうか。どの小説も題材に関する描写が詳しく、それでいてキャラクターの人間関係、とりわけ恋愛模様が魅力的に描かれています。「図書館戦争」シリーズも例に漏れず主人公が憧れた人との恋愛の行方も描かれるのですが、読んでこちらが恥ずかしくなってくる程の主人公の物事への真っ直ぐな姿勢が清々しいです。検閲側と抵抗勢力の抗争としても非常に読み応えがあり、読んでいて楽しいシリーズになっています。ぜひ、読んでみてください！

(4E 日野)



教員推薦図書

今年度、教員から学生向けに推薦された図書の紹介です。図書館内の教員推薦図書コーナーに配架しています。学習や教養を深める本、将来の進路や生き方を考えることに役立つ本など様々な本があります。先生たちのお薦めの本をぜひ読んでみてはいかがでしょうか。

一般科文系

リトル・ピープルの時代	新潮日本文学アルバム 10 武者小路実篤	明治憲法史
下流志向	新潮日本文学アルバム 11 志賀直哉	よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑
謎の村上春樹	新潮日本文学アルバム 12 宮沢賢治	よけいなひと言を好かれるセリフに変える働く人のための言いかえ図鑑
大事なものは見えにくい	新潮日本文学アルバム 13 芥川龍之介	10秒で好かれるひとこと 嫌われるひとこと
走ることにについて語るときに僕の語ること	新潮日本文学アルバム 16 川端康成	やる気に頼らず「すぐやる人」になる37のコツ
村上さんのところ	新潮日本文学アルバム 19 太宰治	「説明が上手い人」がやっていることを1冊にまとめてみた
普通をだれも教えてくれない	新潮日本文学アルバム 34 林芙美子	失敗の科学 失敗から学習する組織、学習できない組織
困難な成熟	新潮日本文学アルバム 38 高浜虚子	なぜあなたは論文が書けないのか？
疲れすぎて眠れぬ夜のために	マンガ 大地の子 1-4	なぜあなたの研究は進まないのか？
修業論	漫画で知る戦争と日本 敗走記篇	なぜあなたの発表は伝わらないのか？ できてるつもり!? そこが危ないプレゼンテーション
承認をめぐる病	漫画で知る戦争と日本 特攻篇	実例とイメージで学ぶ感覚英文法・語法講義
新潮日本文学アルバム 1 森鷗外	両手にトカレフ	英語リーディングの極意 - 10の原則で読み解く-
新潮日本文学アルバム 2 夏目漱石	日本憲法学の理念と展望	英語ライティングこれ一冊 英検・TOEFL・IELTSに共通する基礎
新潮日本文学アルバム 3 樋口一葉	国家・公共の福祉・基本権	7日間完成 英検準1級 予想問題ドリル
新潮日本文学アルバム 4 島崎藤村	明治史講義【人物篇】	14日のできる! 英検準1級 二次試験・面接 完全予想問題
新潮日本文学アルバム 6 石川啄木	明治史講義【テーマ篇】	英検準1級 面接・攻略ポイント20
新潮日本文学アルバム 9 有島武郎	近代日本の国家構想 - 1871 - 1936	ニューエクスプレスプラス ロシア語

一般科理系

セジウィック アルゴリズムC 第1~4部	トウモロコシの科学(シリーズ 食品の科学)	トウモロコシの大百科 (まるごと探究!世界の作物)
セジウィック アルゴリズムC 第5部	トウモロコシ(地球を救う!植物)	トコトンやさしいバイオエタノールの本
高校数学でわかるフーリエ変換	おいしい穀物の科学 コメ、ムギ、トウモロコシからソバ、雑穀まで	図解でわかるカーボンニュートラル燃料 ~脱炭素を実現する新バイオ燃料技術
今日から使えるフーリエ変換	転作全書 第3巻	素数全書 - 計算からのアプローチ
スラスラわかるC++	中国トウモロコシ産業の展開過程	自閉症の僕が跳びはねる理由
トウモロコシ - 歴史・文化、特性・栽培、加工・利用	トウモロコシの歴史	The Art of Computer Programming Volume 1 - 2
トウモロコシの世界史 - 神となった作物の9000年		

機械工学科

流体計測法		
-------	--	--

電気電子工学科

基礎電気・電子工学シリーズ5 電気・電子材料	太陽電池の基礎と応用 — 主流である結晶シリコン系を題材として —	物質・材料研究のための透過電子顕微鏡
はじめての薄膜作製技術	発光ダイオード	走査透過電子顕微鏡の物理
強誘電体入門 基礎理論と相転移の現象論	半導体デバイスの基礎	やさしい電子回折と初等結晶学
固体物性と電気伝導	図解入門業界研究 最新音楽業界の動向とカラクリがよくわかる本	分析化学実技シリーズ ナノ粒子計測
電気・電子工学基礎講座3 電気物性学	図解入門業界研究 最新コンテンツ業界の動向とカラクリがよくわかる本	化学の要点シリーズ 電子スピン共鳴分光法
希土類永久磁石	図解入門業界研究 最新食品業界の動向とカラクリがよくわかる本	新・電顕入門ガイドブック
電気・電子材料	世界でいちばん簡単な「まんが」電子回路の本	電気材料 — 導電材料と絶縁材料
絵から学ぶ 半導体デバイス工学	超伝導—直観的に理解する基礎から物質まで	現代電気電子材料
半導体工学	基礎からの超伝導 風変わりなベアを求めて	基本電子部品大事典 回路の製作や実験に役に立つ
電子物性 — 電子デバイスの基礎 —	X線光電子分光法	

情報工学科

教科書では教えてくれないHTML & CSS	React.js & Next.js 超入門	HoloLens 2 入門
いちばんよくわかるWebデザインの基本きちんと入門	不思議系上司の攻略法 1-3	ひと目でわかるMicrosoft 365 Share Point 運用管理編
動くWebデザイン アイディア帳 実践編	え、社内システム全てワンオペしている私を解雇ですか？	センスは知識からはじまる
みんなのVue.js	天使のスタートアップ	まんがでわかる 7つの習慣 1-4
モダンJavaScriptの基本から始める React 実践の教科書	Microsoft Power Apps 入門 手を動かしてわかるローコード開発の考え方	入社1年目からの「絶対達成」入門
基礎から学ぶ React/React Hooks	Microsoft Power BI 入門 BI使いになる！ Excel脳からの脱却	ROS2とPythonで作って学ぶAIロボット入門
Reactハンズオンラーニング — Webアプリケーション開発のベストプラクティス	はじめてのPower Automate Desktop — 無料&ノーコードRPAではじめる業務自動化	

都市・環境工学科

土木の仕事ガイドブック 日常をつくるプロフェッショナル	図解入門 よくわかる 最新 都市計画の基本と仕組み	都市デザイン 101のアイデア
土木技術検定試験 問題で学ぶ体系的知識	図解入門 よくわかる 最新「橋」の科学と技術	世界のコンパクトシティ 都市を賢く縮退するしくみと効果
ヨーロッパのドボクを見に行こう	図解入門 よくわかる 最新土木技術の基本と仕組み	ポर्टランド 世界で一番住みたい街をつくる
土木計画学ハンドブック	図解入門 よくわかる 最新 鉄道の技術と仕組み	ポर्टランド・メイカーズ クリエイティブコミュニティのつくり方
橋を見に行こう — 伝えたい日本の橋	図解入門ビジネス 最新GIS [地理情報システム]のビジネス活用がよくわかる本	CREATIVE LOCAL エリアリノベーション海外編
橋百選	図解入門 よくわかる 最新コンクリートの基本と仕組み	Town Center 商業開発起点によるウォークアブルなまちづくり
「フォトミュージアム」世界の美しい橋	図解ポケット SDGsがよくわかる本	ソフトシティ — 人間の街をつくる
出るとこだけ！技術士第一次試験基礎・適性科目の要点整理 技術士試験学習書	日本百名橋	まちづくりの仕事ガイドブック まちの未来をつくる63の働き方
国土交通白書2022の読み方2023年度技術士試験に生かす国土交通行政の要点	デンマークのスマートシティ データを活用した人間中心の都市づくり	図解入門 最新気象学のキホンがよくわかる本
図解入門 土木技術者のための建設材料の基本と仕組み		

思い出の一冊



上杉鷹山「富国安民」の政治

一般科理系 森田 昌孝

高専生というと理系の書籍を読む機会が多く、歴史上の人物に関わる本を手にする機会はほとんどないかと思います。今回、ご紹介する本は、私のこれまでの考え方をガラリと変えた人物である「上杉鷹山」の人生が書かれた本です。思い出の一冊ということで紙面をお借りしてご紹介させていただきたいと思っています。

上杉鷹山というとほとんど聞いたことがないと思いますが、実は、海外ではちょっと有名な人物です。特にJ・F・ケネディ大統領が日本でもっとも尊敬する政治家としていた方でした。政治手腕だけでなく、リーダー論や改革手法は学ぶことが多く、ビジネスを進める上で参考になっている経営者も多くいます。

その上杉鷹山ですが、大分県のご近所である宮崎県高鍋藩の出身で、上杉家の養子となり、山形県の米沢藩に藩主として迎えられることになります。当時、米沢藩は、莫大な借金を抱えていたのですが、その危機的な藩財政を好転させ、また、当時の頻発していた飢饉への対応も適切に行い、領民の餓死者を一人も出さない取組みを行いました。

改革当初は、抵抗する藩士や領民も多く、苦難の中での改革でしたが、自ら率先して身を削り、質素節約を徹底し、「一汁一菜」(主食、汁物、漬物だけ)など、贅沢な食事をしなかったそうです。当時の藩主というと贅沢三昧で糖尿病や通風が流行するような生活をしていた記録が多くあります。

また、鷹山は、改革の先頭に立って現地にも自ら赴き、現地指導を丁寧に行っていたこともあって領民や藩士からの信頼も徐々に得て、着実に改革を行っていきました。現代社会では、トップダウンなどの言葉がありますが、上杉鷹山が残した言葉には「してみせて、言って聞かせて させてみる」があります。自ら動き、また、部下へも幅を持たせて、成長を促して物事を進めることは、人材育成論としても重要な考え方であると思います。

このように、人に指示だけをやるのではなく、考えさせることによって組織を動かし、新しいエンジンとして、改革を進めていく点は、リーダーシップ論や教育論として、私自身も実践をしていきたいと思っています。

このほかにも、上杉鷹山の行った改革や訓えは、いくつもありますので、ぜひ、皆さんも手に取って、先人の教えを学び、今後の人生に役立てていただければと思います。



新橋烏森口青春篇

情報工学科 重松 康祐

学生の頃はジャンルを問わず、よく本を読んでいたのですが、就職してからは技術書、専門書の類しか読まなくなりました。最近では、子供に読み聞かせるために毎日絵本を読む日々です。さて、今回このお話をいただいて実家の本棚を眺めていたところ、この本が目にとまりましたので紹介させていただきます。この本は著者の椎名誠先生の自伝的小説で、著者が小さな新聞社に就職してからの数年を描いたものです。1960年代頃の東京の新橋が舞台となっています。著者と私の父の年齢が近いこともあり、父から聞いた若いころの仕事の話と重なることがあり非常に印象に残っています。基本は事実ベースだ

と思われるので、大事件や伏線回収もどんでん返しもない、個性的な仲間との日常が描かれており、当時のサラリーマンの働き方を垣間見ることができます。会社に忍び込んでの酒盛りや賭けポーカーなど今では考えられないような描写が出てきますが、私が就職後に先輩や上司から聞いた話では、多かれ少なかれ、昔はそういった大らかで、いい加減なところもあり、職場での人間関係も現在よりも濃密だったようです。私が社会人になった十数年前と今現在を比べても、働き方改革やコロナ禍の影響等により、働き方や職場の方々との付き合い方が、大きく変化したことを実感しています。宴会やイベントが極端に少なくなり、それはそれで気楽なところはありますが、寂しくもあります。今回、今一度読み直してみましたが、学生の時よりも、自身の経験とリンクするところや共感する点が多くなったように思います。少し古い本ですが、時代が経っても人間の本质は変わらないと思いますので、学生の皆様には気軽に読める本としてお勧めします。私が学生の頃は就職に対してネガティブな印象を持っていましたが、この小説の主人公をはじめとする楽しそうな社会人の姿をみて、段々と働くことも楽しそうだなと思うようになりました。学生時代の私のように社会に出ることが怖いと感じている学生に対して、楽しい社会人の見本になるべく、これからも楽しく働いていきたい所存です。

令和4年度 読書感想文コンクール

入選作品

沈黙のパレード

東野 圭吾



沈黙が口を開くとき

1C 渡邊 杏

沈黙が真実を語ることはない、彼は知っていた。

「沈黙のパレード」は、菊野市で行われるパレードの日起きた殺人事件を描く。その事件で殺害されたのは二十三年前の幼女殺人と、三年前に失踪した菊野通りの飲食店「なみきや」の娘殺人の犯人、蓮沼寛一という男だった。パレードの裏で起こった事件の真相は何か。過去に蓮沼を裁けなかったことを悔やむ刑事の草薙と、同じく刑事の内海、そして天才物理学者の湯川が事件を解き明かしていく。

私が本作を読み魅力を感じたのは、読者によって人物同士の会話からその場の情景、関係性が想像されることである。特に草薙と蓮沼の事情聴取の場面では、二人の掛け合いのあまりの冷たさに、薄暗く狭い事情聴取室の静けさ、緊張感、張り詰めた空気を思わず想像してしまう。さらに互いの隙のない言葉の羅列には、草薙の心中で燃える悔恨の念と、蓮沼の今回も捕まることはないという圧倒的自信を感じられる。こうして人物が関わっていく度に、ストーリーの雰囲気や登場人物の思考を読者が読み取り、形成していくことで、より物語に入り込むことができるのだと思う。

しかし、本作の一番の見所はやはり真実が解き明かされる場面であろう。推理小説において、最後にアッと驚く真実が待っているというのはよくある流れかもしれない。だが、本作は他と一味違う。それは、最後に明かされる真実が何重にも重なっているところである。最後の真実まで知って初めて、この事件の深さに気づくのである。読者は本を読んでいて、残りページが少ないことに気づくと、「来るぞ来るぞ。」と、真実に向けて意図せずとも構えてしまうものだ。そんな時に、まず一つ目。実行犯の自白という名の真実。ここで読者は「そうだったのか。」と納得し、思考を手放す。しかし、湯川や草薙、内海の会話から感じられる、何か、不穏な空気。そこから明かされる、二つ目の真実。湯川と瑠美の会話中の、今まで散りばめられていた違和感を解消していく衝撃的な真実に読者は思わず「やられた」と舌を巻いてしまうだろう。最後に、湯川が解き明かす、蓮沼しか知らなかった真実。こうして作品の最後で読者に畳みかける構成は、本作のフィナーレにふさわしく、非常に面白い。

最後に、本作の全体を見つめてみる。すると、私は筆者の社会に対するメッセージが見えてくると思った。それは、司法で裁けなかった罪が生む罪の循環についてである。毎日報道されるニュースの中で、これは罪に対して裁きが軽いのでは？と思うことも少なくない。私たちは他人の立場から見ているからいいものの、被害者や、被害者の家族、友人は苦しみ続ける自分たちをよそに司法に守られていく犯人を許せるはずがない。「沈黙のパレード」では、沈黙が蓮沼を守った。それは司法が蓮沼を守ったともいえるのではないか。その時、被害者の想いを背負う者たちは考える。司法が裁けない罪を一体誰が裁くのか。自分だ、と。これは小説の中に限ったことではないだろう。それを筆者は伝えたいのではないか。犯人から被害者へとつながってしまう罪の循環を起してはいけない、その前に合法的な司法が正しく裁かなくてはいけない、と。「沈黙のパレード」は、司法と私含む何も動かず現状を放置している人たちへ送る、筆者からの警告であり、今の社会への抵抗の意思だと思う。筆者のように、私たちは声を出し、訴えなくてはならない。沈黙はもう、やめなければならないのだ。

令和4年度 読書感想文コンクール

入選作品

嫌われる勇氣

岸見 一郎／古賀 史健

どうすれば人は幸せに
生きることができるのか

1M 阿部 光次

どうすれば人は幸せに生きることができるのか。この問いについての答えを提示するのがアドラー心理学と呼ばれる思想、学問である。この「嫌われる勇氣」という本は、アドラー心理学の創設者アルフレッド・アドラーの思想を、「世界はどこまでもシンプルであり、人は今日からでも幸せになれる」という持論を展開する哲人と、その説に異を唱える青年の対話方式で書かれている。

私にはとある友人がいる。その人は夢を見つけ、今もその夢を叶えるために必死に努力を重ね続けている、憧れのような人だ。しかし私は確固たる夢も見つけられず、何のための努力かも見失ってしまうような、友人とかけ離れた存在だ。「ともに同じ時間を生きているというのに、なぜこんなにも人が違うのだろうか。」という劣等感を覚えることもある。

「嫌われる勇氣」という作品の中に、私の思いにメスを入れた印象的な二文がある。
「健全な劣等感とは、他者との比較のなかで生まれるのではなく、『理想の自分』との比較から生まれるもの」
「われわれは『これは誰の課題なのか?』という視点から、自分の課題と他者の課題とを分離していく必要がある」
私の友人の努力と私自身の努力、それは質も量も違っているのかもしれない。しかし、他人と比較し競争をする、「どうせ無理だ」と変わらない現状を私自身が望むのではなく、今ここを真剣に生きていく。友人の努力は「友人の課題」であり、私の努力は「私自身の課題」という「課題の分離」をしていく。これらのことができれば、対人関係の中で生まれる劣等感や焦燥感、嫉妬などは持つ必要がないと思う。つまり私という存在をありのままに受け入れることができる。これらの私の考えを登場人物の哲人はこのような一言でまとめていた。
「われわれは『同じではないけれど対等』なのです。」

哲人の「世界はどこまでもシンプルであり、人は今日からでも幸せになれる」という主張。私はこの主張をすべて受け入れられていない。なぜならこの「嫌われる勇氣」の内容はとても難しく、一朝一夕で理解できるものではないからだ。しかしこの作品から学んだこともある。私は、私自身を他人と比較する必要はなく、ありのままの自分を受け入れ進んでいく。私が今ここから変わることは私の課題であり、他人が土足で踏み込んではいけない。無論、私が他者の課題に土足で踏み込んではいけない。

どうすれば人は幸せに生きることができるのか。その答えもまだ見つけられてはいない。しかし、その答えを見つける第一歩は踏み出せたとと思う。今が全く幸せでないとは思わない。しかし私は、アルフレッド・アドラーが説いたこの考え方をもっと知りたい、真理を突き詰めたいと思う。そうすることで人間的な成長を得られると信じている。

令和4年度 読書感想文コンクール

入選作品

ゾウの時間 ネズミの時間

本川 達雄

ゾウの時間、ネズミの時間と
私の時間

1S 中山 彩織

「時間は誰にでも平等だ」

事あるごとに両親や学校の先生から言われてきた。確かに一日は二十四時間で、人によってその決まった時間が二十五時間になったり二十時間になったりすることはないし、当たり前だといつも聞き流していた。ところがこの本では、ゾウにはゾウの時間、ネズミにはネズミの時間があると書かれている。一体どういうことだろう。

ゾウとネズミを比べた時に、体の大きさが違うことにはすぐ気が付く。この本によればゾウやウマやネコなど、あらゆる動物の心臓の拍動数から調べた結果、時間は体重の四分の一乗で計算できることがわかった。この計算をすればネズミの時間は早く、ゾウの時間は遅いことになる。つまり、体重の大きな動物ほど時間が長く、小さな動物になると時間が短くなるらしい。ここに出てくる「時間」とは、寿命をはじめとしておとなのサイズに成長するまでの時間、赤ん坊が母親の胎内に留まっている時間など、動物の一生にかかわる全ての時間が関わる現象のこのようだ。確かに、ゾウは妊娠して出産までに二年位かかり、ネコは二か月程で出産すると聞いたことがある。ネズミが数年しか生きられないのに対し、ゾウは百年近くも生きるらしい。しかし、これでいうと「時間は誰にでも平等だ」とはいえないのではないかと思う。

しかし、ここで次の話が出てくる。寿命を心臓の胎動時間で割って、「哺乳類はどの動物でも一生の間に心臓を二十億回打つ」という計算をした人がいる。人間もゾウもネズミも二十億回心臓を打つ時間を持っている。だが、心臓のテンポはそれぞれ違う。それが、動物はそれぞれ時間の単位を持っているということであり、私たちが普段気にしている「時計の時間」とは違うということである。

「物理的な寿命が短いからといったって、一生を生き切った感覚は、存外ゾウもネズミも変わらないのではないか。」この一文にはっとした。セミは一週間しか外の世界に出られなくてかわいそう。家でかわいがっているネコも私より早く死ぬことを想像するだけでとても辛く思っていたが、それは私たち人間の思い込みであって、生物学的に見ると、それは普通のことであり、かわいそうと思うことは何か違っていると気づいた。

もう一つ、「島の規則」というものがある。小さな島に住んでいる動物は、大型の動物はだんだんサイズが小さくなり、逆に小型の動物は大きくなる。大陸は捕食者が多く、島国は捕食者が少ないという環境からだそう。これが人間の思想にも当てはまるのではないかと筆者は言っている。大陸では様々な思想が生まれ、周りと合わなくてもよそに逃げたら良いが、島国では逃げる場所がないので大それた思想を生み出す人はなかなか出てこない。今の私は、島国側の人間ではっきりと自分の意見を言えていないことが多い。これからは外国の人のように、自分の意見をはっきり伝えることができ、自分の時間を元気に楽しく過ごせる人になりたい。

令和4年度 読書感想文コンクール

講評

一般科文系 国語科 広瀬 裕美子

「読書感想文」とは、作品を読んでただ単に「感動した、面白かった」で終始するものではない。どうしてそのように思ったのか。どのような点に感動したのか。作者（登場人物）の表現（言動）意図を思索し、自己と照合しながら、自分の思いや考えを追究していくものである。

さて、毎年読書感想文を読んでいく中で気付いたことがある。①その本を一冊全て読了した気分させてくれるほど、あらすじが記されている「読書案内記」。②自分の実体験に触れるうちに主人公と一体化し、筆が止まらなかったのだろうか、内容が作品とはかけ離れていく「読書体験記」。③「皆さんにもこの本をお勧めします！是非読んでみて下さい！」と対象不明の読者に作品を勧める「読書紹介記」。以上の三点が非常に多いということである。私自身、個人的にはどれも楽しく拝読させて頂いているが、「読書感想文」となると首肯し難い。



このような中、第一位を受賞した渡邊杏さんの「沈黙が口を開くとき」（『沈黙のパレード』東野圭吾）は、登場人物の会話から情景や関係性が想像できるという「本の魅力」を始め、真実が解き明かされる場面の「見所」に触れ、最後に「筆者の社会に対する警告」について言及しており、文章・構成・考察のどれもがリズムよくかつスピーディーに語られ、読み手が文章に引き込まれていく秀逸な内容であった。また、語彙が豊富で表現描写も絶妙だった。

第二位を受賞した阿部光次さんの「どうすれば人は生きることができるのか」（『嫌われる勇気』岸見一郎・古賀史健）は、「自分をありのままに受け入れる」という自己考察を通して、登場人物の「同じではないけれど対等」という描写と照合し、アドラーが説いた「どうすれば人は生きることができるのか」という表現を自分なりに捉えようという意気込みが伝わってくる内容であった。

第三位を受賞した中山彩織さんの「ゾウの時間、ネズミの時間と私の時間」（『ゾウの時間ネズミの時間』本川達雄）は、サイズが大きい動物と小さい動物では時間の速さが異なり、「一生を生き切った感覚はゾウもネズミも変わらない」ことから、「時間は誰にでも平等だ」という自分の思いを再考し、「島の規則」の話からは自分自身がどのようにあるべきかを追求しているところに奥深さを感じた。

何れも、様々な視点から本文を読解、自己照合、再考、主張を導き出している秀作であり素晴らしかった。

人生は、学生時代のテストのように模範解答はないが、数多くの選択肢が用意されている。数多くの本と出会い、その内容について言及していくことは、よりよい選択の一助となるに違いない。今回の読書感想文執筆を契機に、是非、今後も本との対話を継続してもらいたいと祈念している。

読書感想文コンクールについて

学生図書委員会委員長 5E 幸 冬磨

皆さまこんにちは、図書委員長です。さて、読書感想文コンクールの講評ということですが…、もっと面白い話の方がいいですよね？なので、先に講評やっときますね。内容についてですが、よく書けている人もいましたね。私が気になった点としましては、話し言葉、常体と敬体の統一（してない人はそこまでいない？）などなのですが、やはり多くの方は読書紹介文になってますかね。まあ私は別に感想文上手くないので人のこと言えないんですが（←おい）。テンプレですけど自分の体験とか入ってる人は賞もらう人多いですよね。この学校ではコンクールで上位とると図書カード（英世さん2枚分）がもらえますので、賞取りたい！という人もいるかと。ならば、来年は自分の体験談を入れると、賞がとれるかもですよ。

さて、真面目な話はこのくらいにしておいて、ここからは何かしらのお話を。まず、高専時代に読書をしましょう！ということですかね。スマホばかりやってないで、小説でも読んでみては？大人になり働き出すと本を読む時間なんてきつくないですよ。え、それでもいいって？いやよくないです。例えばあなたの趣味は？と聞かれてゲームと答えるよりも読書と答えた方が、知的な感じがしませんか？履歴書に趣味はゲームと書くよりは読書の方が良い気がしません？

あとは、遊べるときに遊びましょう！といたいですね。高専生活で自由に遊べるのも3年生くらいまでですよ。4年生になると進路を決めないといけない、5年生になると就活、卒業研究などなど…。だから低学年の皆さんは今のうちに思い切り遊びましょう。

ところで卒業研究って、先生ごとにテーマが決まっていて、それを皆さんが選ぶ形式です。このとき、人数がオーバーすると…成績順で決められてしまいます！自分の興味のない研究だとやる気ができませんから、成績は上位を保っておきましょう。もちろん、いい成績の方が履歴書に書きやすいですから、日々頑張ることをおすすめしますよ。

さて、そろそろ終わりが近づいてきました。ここまで読んでくれた人はいますかね？では最後に。今年度ももうすぐ終わりです。人生はゲームと違ってセーブ＆ロードということはできないのです。人生何が起るかわかりませんよ（明日死ぬかもしれない）。だから、一日一日を精一杯過ごしてほしいものです。以上で講評？は終わりにしましょう。ここまで読んでくれたあなたに感謝。ありがとうございました。



読書感想文コンクール 及び 図書貸出上位者・クラス表彰式

令和4年度 読書感想文コンクール及び図書貸出上位者・上位クラス表彰式が、大分高専レクチャーホールで令和5年1月10日(火)に行われました。

読書感想文コンクール受賞者10名、図書貸出上位者10名、図書貸出上位クラス3クラスに、山口校長から表彰状・記念品等が贈呈されました。

山口校長からの挨拶では、令和4年度の読書感想文コンクールは1年生全員の応募作品の中から上位10人が選ばれており、どれも素晴らしい作品であること、コンクールには49年の伝統があることなどを話されました。

また、貸出上位者及びクラスについては、情報化が進む中で、ウェブ上の情報だけでなく図書からも広く知識を深めることは大切であると話されました。

最後に、新しく創刊されるこの「図書館だより」への期待を述べられるとともに、読書感想文コンクールに参加してくれた学生や、図書館を活発に利用してくれた学生、及び学生図書委員会へ感謝の言葉がありました。



読書感想文コンクール受賞者対象書籍

令和4年度 学生図書委員名簿

学科/学年	任期	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	都市・環境工学科
1	1年	池田 琉乃	進 ゆうな	佐藤 陸	孫 雪恵
	前期	小海 琉聖	福井 奏太	江上 颯人	富永 皓介
	後期	山本 大雅	福井 奏太	後藤 親都	佐々木 智康
	1年	陣林 岳和	高津 駿斗	首藤 桃音	後藤 陽成
2	前期	麻生 奏太	榎野 気把	加藤 祐行	新井 真凜
	後期	麻生 奏太	榎野 気把	平川 晴己	田岡 悠希
3	1年	工藤 貴史	河村 勇紀	木田 直柔	高山 恵瑚
	前期	鮎子田 萌生	高橋 亜蘭	足立 舞	麻生理 紗
	後期	鮎子田 萌生	平山 大智	坂本 勅乃	荒木 美有
4	1年	○蔵原 晴生	○日野 耕介	笹木 香沙未	伊井 拓哉
	前期	横手 柚月	メ野 航大	工藤 大夢	牧 優花
	後期	横手 柚月	中村 誉	工藤 大夢	牧 優花
5	1年	長谷川 陽仁	◎幸 冬磨	小澤 和也	鈴木 真理
	前期	加藤 孝介	河村 健弘	朝田 悠斗	後藤 滉太
	後期	加藤 孝介	河村 健弘	朝田 悠斗	後藤 滉太

* 図書委員は上段が1年任期 ◎ 学生図書委員長 ○ 学生図書副委員長

令和4年度 読書感想文コンクール入選者

	クラス	氏名	作品名	書名
第1位	1C	渡邊 杏	沈黙が口を開くとき	沈黙のパレード
第2位	1M	阿部 光次	どうすれば人は幸せに生きることができるのか	嫌われる勇気
第3位	1S	中山 彩織	ゾウの時間、ネズミの時間と私の時間	ゾウの時間ネズミの時間
佳作	1M	大戸 晴輝	みんな違って、みんな良い	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー
//	1E	荒巻 吉大	「永遠の0」を読んで	永遠の0
//	1E	甲斐 晴楓	小さな幸せが詰まった人生に	時給三〇〇円の死神
//	1S	井上 和幸	「15歳のテロリスト」と私	15歳のテロリスト
//	1C	小野 幹人	過去の形と家族の形と幸せの形	春、戻る
//	1C	渡邊 花鈴	「九年前の祈り」を読んで	九年前の祈り
//	1C	渡辺 悠輔	この本の魅力	僕が君の名前を呼ぶから

令和4年度 貸出上位者・貸出上位クラス

貸出上位者

順位	クラス	氏名	貸出冊数
第1位	3C	野中 翔学	114冊
第2位	1AES	高田 康之佑	113冊
第3位	2C	山口 龍齊	103冊
第4位	4C	牧 優花	81冊
第5位	4M	江藤 光太郎	77冊
第6位	3M	鮎子田 萌生	66冊
第6位	3E	脇 英知	66冊
第6位	2AES	村上 太一	66冊
第9位	1S	佐藤 陸	65冊
第10位	4M	蔵原 晴生	63冊

※貸出上位者の集計期間は、2022.01~2022.12

貸出上位クラス

順位	クラス	貸出冊数
第1位	4M	319冊
第2位	専攻科1年	280冊
第3位	専攻科2年	265冊

※貸出上位クラスの集計期間は、2022.04~2022.12



編集後記

本年度初めて図書館長補佐を務め、図書館が関係する刊行物の多さに驚きました。大分高専紀要 図書館報、図書館だより、読書感想文コンクール作品集「もさく」、そして広報誌明野通信が年2回、明野通信以外、配られても目を通すことがほとんど無かったような気がしています。そんな中、図書館報と「もさく」を含め図書館だよりとして一つに集約したことは、省力化とともに、見ていただく機会を増やすことになるかと期待しています。

図書館長補佐 薬師寺 輝敏